

令和6年度 学校園評価シート

(様式3)

学校園名	浜の宮保育園
------	--------

1 保育理念	一人一人を大切にし、自分らしさを発揮するこどもを育てる
2 基本方針	○生活リズムを整え、健康な心と体を育む。 ○遊びを通して人と関わる喜びを感じ、信頼感を育む。 ○自然と触れ合い、感じる心や伸び伸びと表現する力を育む。 ○どんなことにも挑戦する意欲を育む。
3 保育目標	○生活に必要な基本的な生活習慣や態度を養い、心身の健康の基礎を培う ○集団生活を通して、人に対する愛情と信頼感を育て、自立と協働の態度を培う ○さまざまな体験を通して豊かな感性と表現力を養い、創造性の芽生えを培う ○生命、自然及び社会の事象に対する興味や関心を育てる

評価基準

A:できている

B:だいたいできている

C:あまりできていない

D:できていない

E:わからない

重点目標	評価項目	達成状況	改善の方策
「健康で明るくすなおな子ども」の育成	○明るく元気に自分から挨拶をする。 ○体調の悪いときは知らせる。	B	○保育者の方から挨拶をすることで、園児や保護者も自然と挨拶ができるようにしていく。 ○個々に朝の視診を丁寧に行い、変化が見られた時は声をかけ言いやすい雰囲気を作る。
「力いっぱいあそべる子ども」の育成	○いろいろな遊びに親しみ、伸び伸びと意欲をもって取り組む。	B	○個々の発達段階を把握しながら、主体的に遊べる環境を設定し展開させていく。 ○個々の特性にも応じつつ、行事など無理をしないで参加できる方法を考えていく。 ○幼稚園児との交流を経て、共に学び合うきっかけづくりを行う。
「思いやりのある子ども」の育成	○身近な職員や友達との関わりを深め、思いやりの心を持つ。	B	○友達と一緒に、伸び伸びと遊ぶ時間を十分に確保しつつ、異年齢児とふれあう時間も大切にする。 ○生き物の飼育活動等を取り入れることで思いやりの心を育めるようにする。 ○多様な子がいる中で、関わり方を伝えながら共に育つ環境を作っていく。
安全衛生の管理	○園内の安全対策を充実させる。	B	○ヒヤリハットについては、全職員に周知徹底し安全対策に気付けるようにする。 ○事故につながらないように、職員の立ち位置にも気をつけておく。 ○こども同士のトラブルにも丁寧に向き合い、保護者に詳細を伝えられるようにしておく。
職員の資質向上	○保育の質の向上のために、職員研修を充実させる。	B	○園内研修を充実させ、十分な話し合いをもつことで、保育士のスキルアップにつなげる。 ○オンライン研修なども取り入れ、より多くの職員が色々な研修を受けられるようにする。 ○研修内容を報告する場を設け、より深く読み解けるようにしていく。